

## 皆静かにめしを食べている

けんかごしで、だいぶ、両者、興奮している。

京太が 勉強しないので  
兄貴が 勉強の必要性を説明。

しかし、京太は 京太の人生論があり、  
京都大学を目標に、受験勉強している兄貴を  
京太は 口数豊かに、早口で、ひょくっている。

僕は黙って 見ていた。

僕は、京太も 兄貴も  
本当の自分を出していないと思った。

京太と兄貴の話が聞こえなくなるほど、  
僕は その時、考え込んでしまった。

表面だけでなく、真のある人間。  
表面はどうであろうが、真のある人間。

僕はそういう人間になりたい。

しかし、本当は 表面も真もある人間がいいかなあ。

そのつぎに 真のある人間かな。

世の中、どう 人に見られるかを  
気にし過ぎる。

他人にどう思われようが、自分は 自分でありたい。